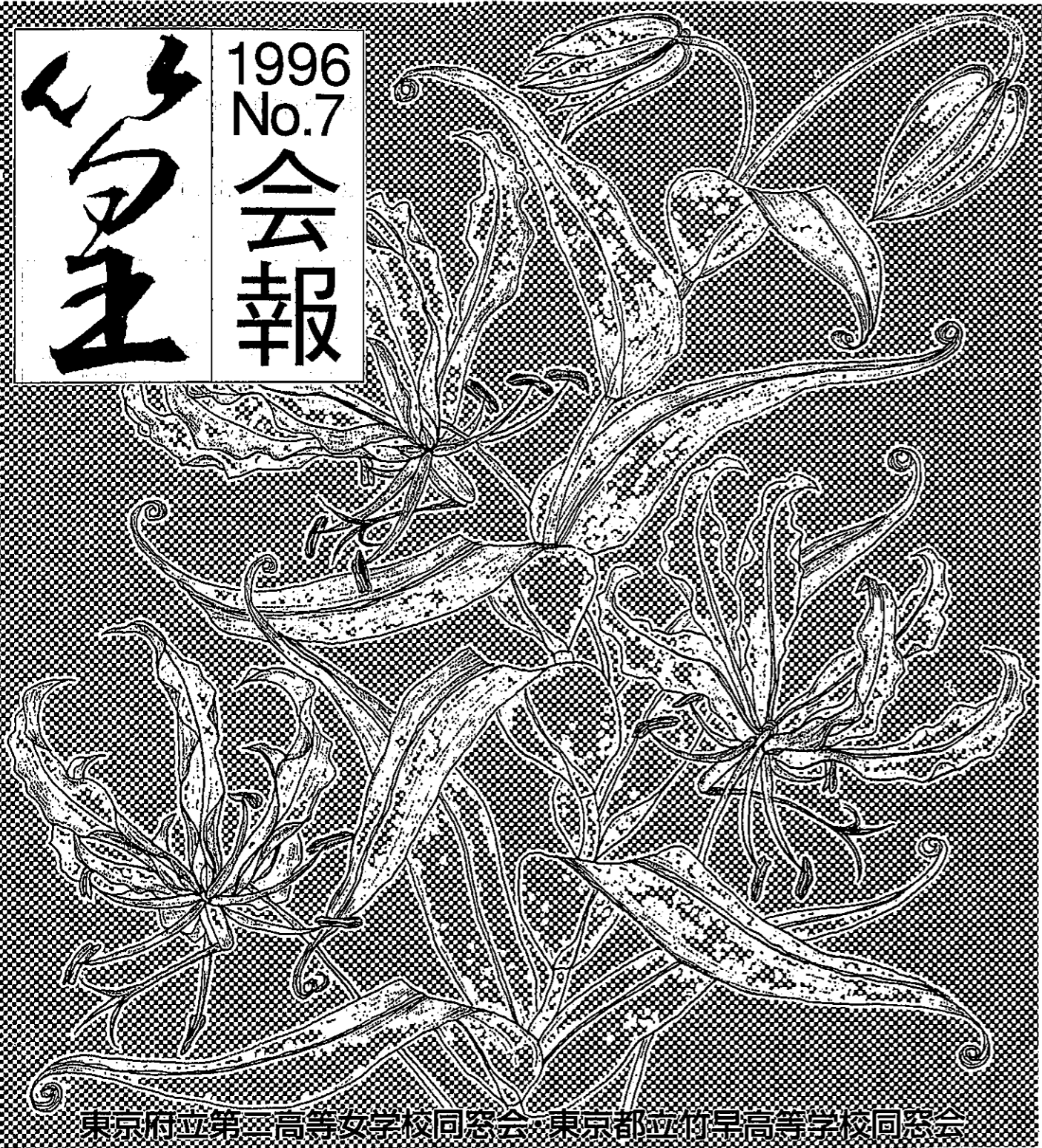
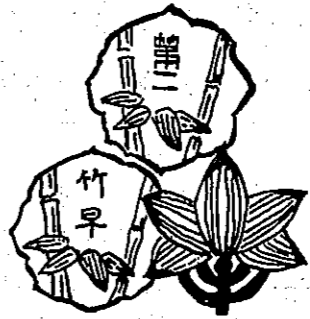


1996  
No.7  
会報

竹早



東京府立第二高等女学校同窓会・東京都立竹早高等学校同窓会



編集委員

- 森本美智子 高校 三回生
- 向井 正昭 高校 四回生
- 小山紀久彌 高校 六回生
- 大久保康子 高校 六回生
- 宗宮 恭子 高校 六回生
- 山廣 俊雄 高校 七回生
- 関 文隆 高校 十回生
- 角掛 隆 高校 十回生
- 渡辺 信博 高校 十二回生
- 近藤 裕美 高校 十二回生

表紙デザイン

- 石田 恵子 高校 六回生

篁会報

第七号  
平成八年四月三十日発行  
発行・篁会  
東京府立第二高等女学校同窓会  
東京都立竹早高等学校 同窓会  
〒102 東京都文京区小石川四ノ二ノ一  
東京府立竹早高等学校内  
編集・篁会編集委員会  
印刷・髙ニットー・印刷所  
〒102 東京都文京区千駄木三ノ三ノ二  
電話・〇三(三三)八二(二)〇二一〇

平成8年度

# 篁会総会

開催のお知らせ

下記により篁会総会を開催いたしますので、お誘い合わせのうえご出席下さい。

日時 平成8年6月29日(土) 受付開始 11時30分

開会 12時00分

総会

講演 古屋和雄氏

懇親会

閉会 15時30分

会場 アルカディア市ヶ谷  
千代田区九段北4-2-2  
TEL 03-3261-9921

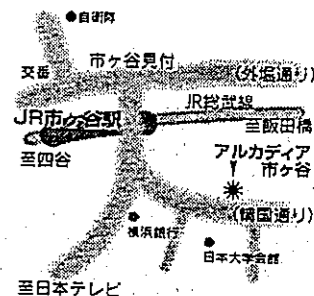
会費 会員 ¥6,000 (うち学生 ¥2,000)

【ご出席の場合のみ、同封のはがきで6月9日までにご回報下さい。】

アルカディア市ヶ谷  
(私学会館)

千代田区九段北4-2-2  
TEL 03-3261-9921(代)

- JR線 市ヶ谷駅前
- 地下鉄有楽町線市ヶ谷駅前
- 地下鉄都営新宿線市ヶ谷駅前



講師のご紹介 古屋和雄氏 (NHK 7ナウン-)

NHK入局以来、「昼のプレゼント」「おはようジャーナル」等を担当、阪神大震災報道でも活躍。近著に「くやし涙うれし涙・神戸」。(早大卒、現大阪放送局勤務。1949年生)

今回当番 高校6回(昭和29年卒)・高校27回(昭和50年卒)・高校47回(平成7年卒)

当番学年の方のお手伝いをお願いします。幹事(6回:西森)あてご連絡下さい。TEL 03-3413-3243

次回当番 高校7回(昭和30年卒)・高校28回(昭和51年卒)・高校48回(平成8年卒)

## 会長をお引受けして

会長 城戸崎 愛



このたび長年の間、会長の任を御立派に全うなされました、愛知富富様のあとをお引き受けす

る事になりました。不肖の身で些かその重責を引継ぐ事が出来ますかどうか戸惑っております。

しかし幸いなことに新しい副会長小山紀久彌氏、對崎俊一氏はじめ、理事の方々の御協力を得て新たな気持ちで精一杯努力してまいりたいと存じます。これまでの諸先輩の方々の立派な路線を守りながら、少しでも前向きに篁会の一層の充実と発展を目ざして、皆様のお役に立ちたいと願っております。篁会の竹早精神を語りつき伝える先輩として、恥ずかしくないようつとめを全うしたいと存じます。皆様もよろしく御指導、御協力をお願い申し上げます。

私達を取りまく社会は大きく変化しつつあり、目まぐるしい時代の中で百周年を迎えようとしております。卒業生の一人一人が母校に誇りをもってそれぞれの立場で努力されるよう篁会を育てて下さる事を願って止み

## 新環境で課題に対処

校長 筒井 利行



同窓会の皆様には、各方面でご活躍のことから心からお慶び申し上げます。日頃、母校や後輩に対し、温かいご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は、阪神・淡路大震災で明け、地下鉄サリン事件、金融破たん等で大きく揺れました。戦後五十年という節目の年も激動の一年でした。新たな年は平穩であってほしいと願う気持ちが一層強くなってまいります。

今年には長きにわたった校舎の全面改築も平成四年度の二期工事(校舎棟)の完了に続き、二期工事として体育館

二十五才 ↓三十一才 「性春」  
 三十七才 ↓四十九才 「盛春」  
 五十才 ↓六十二才 「聖春」  
 六十三才 ↓七十五才 「清春」  
 七十六才 ↓八十五才 「静春」

ずうと一生、セイシュンで誇りを持って、謙虚に生きて行きたいと願っております。これからもよろしく。

格教室、特別教室(音楽室・美術室)と屋上に人工地盤の校庭が完成いたします。これまで、教育活動の上で生徒をはじめ教職員等多方面にわたってご苦勞をかけてきましたが、平成七年度末には解消します。

この新しい校舎の落成に当たっては東京都教育委員会、東京都財務局、工事関係者、地域の教育委員会、小・中学校、篁会、保護者、そして歴代の校長先生、教職員等の皆様方には並々ならぬご支援をいただきましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

竹早高校の歴史と伝統の上に新しく設備された教育環境を十分に活用して二十一世紀へ向け新たな歴史を積み重ねていく意気込みをもって教育活動を展開していきたいと思っております。篁会の皆様方の温かいご支援をお願い申し上げます。

さて、この度、長年にわたり篁会の発展にご尽力され、母校に絶大なご支援をいただきました愛知富富会会長様

をはじめとして役員の方には、このほど退任され、篁会運営を、新しく就任された城戸崎愛会長様をはじめとする役員に引継がれることになりました。

愛知前会長様をはじめ役員の方々にこれまでのご尽力、ご指導いただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。今後ともご健健で変わらぬお力添えをお願いいたしますとともに、城戸崎新篁会会長様を中心に篁会がますます発展されますことをお祈りいた

### 篁寿会

重富 百合子  
(高女四十七回)

桜の蕾もちらほらほころび初め、こぶしやれんぎょうが、咲き競う、三月二十六日、平成八年の篁寿会が、学士会館にて開かれました。花曇りとはいえず、まずまずのお天気でほっとひと安心。上は二十二回生の先輩から下は四十九回・高二回生まで、二百名の方の御出席で、正午過ぎに須藤芳枝の司会で開会。

衛藤綾子が開会のことばの中で、太平洋戦争開戦間もない昭和十七年に入学し、終戦直後の昭和二十一年に卒業した、私達四十七回生の竹早での学校生活の位置付けを述べました。

### 湘南篁会

湘南篁会会長 神谷 美喜子  
(高女三十一回)

篁会会報も回を重ねて第七号の発行を皆様方の御努力で果たされます由、まことにおめでとう存じます。又ありがとうございます。心から御礼申し上げます。年の隔りはあっても、同じ学習に学んだ者には共通の思い出がございます。

湘南篁会も年一回の例会を続けております。平成七年には四十八回生の大島様、源中様、黒田様の幹事さん方の御骨折りで鎌倉由比ヶ浜の有明荘で催



します。

今、わが国の教育は、来たるべき二十一世紀の社会に向けて、大きな変革の時期を迎えています。国際化、情報化、科学技術の発展、高齢化、少子化などの社会の変化の中で、新しい教育の在り方が問われ、第十五期中教審の動向にも注目し、本校の歴史と伝統の上に立って、足元の課題をとらえ、課題解決に向けて教育活動の一層の充実に向けてまいりたいと考えております。

続いて篁寿会会長代理神谷美喜子様  
の御挨拶、篁会会長城戸崎愛様のお人柄の好きがしみ出るような、温かい御挨拶に続いて、小山紀久彌様から篁会総会へのお誘いと進み、長年にわたり篁会のために御尽力頂いた前会長愛知富様の乾杯の音頭で楽しい会食に入りました。いつものことながら、各テーブルは、同期の面々が卓上に飾られた花にも負けじと話の花を咲かせていました。

会食後待ちに待った、二期会会員であり、母校竹早高校の教師の飯村孝夫先生のバリトン独唱を、橋本鈴枝先生の伴奏でお聞きしました。曲は、ほとんどが、私達の愛唱したニューベルトの『菩提樹』『鱒』に始まり、『早春賦』『波浮の港』『平城山』『帰れソレントへ』等々、胸がキュンとするものばかりでした。

特に、予定していた『花』にかえて

され、四十人程のお集まりがあり、一日を楽しく過ごしました。

私事になりますが、私も会長をうっかりお引き受けしてから二十五年余りになってしまっ、我ながら年をとったとつくづく思います。何とかお若い息を吹込んでいただきたく、篁会もパトタッチとなりましたので、からどなたかお引受けいただけないものかと思ひます。

昨年は関西の大地震、オウム事件と暗い事が続き、本年はまたトンネルの崩壊とか自然の警告、次には人為的の住専問題とか、頭の痛む事件続き。宇

### 関西篁会

関西篁会会長 河合 道子  
(高校三回)

篁会の皆様、御機嫌よくお過ごしでしょうか。私は此度、関西篁会会長をお受け致しました。内藤花前会長同様、よろしくお願い申し上げます。

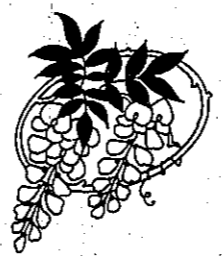
昨、平成七年は関西在住の者にとり波乱の一年でした。震災の被害の有無に関わらず、物心両面の痛手を負いました。然し、関西篁会は一同励まし合いい、総会の時期を秋に繰下げ、京都平安神宮で無事開催する事が出来ました。その節は、皆様方より御見舞いを賜りまた総会当日には、本部役員の方々

『琵琶湖周航の歌』を全員合唱にして下さった飯村先生には、心の中で思わず「ヤッタ」と叫びたくなるような嬉しさでした。先生はお話もお上手で藤原義江さん・森繁久弥さんの歌にまつわる面白いエピソードも披露して下さいました。又オペラ歌手の面目躍如な『あわて床屋』の歌唱の時には、まわりの者みんなの身体が自然に動いて楽しさ一杯でした。

終って、女学生時代に戻ったような初々しい(?)気分が校歌を斉唱し、「この篁寿会もあと二回でおしまいと聞いて居りますが、是非せひ来年も、また再来年もこの会に元気で顔を合せましょう。」との吉田堪子のご挨拶で会を閉じました。

たまたま私は受付を担当させて頂き会場入口で皆さんと顔を合わせることが出来ましたが、本当にお一人お一人が美しく輝いて見えました。

ふと見上げた、天井のレトロな明りとり、すこしくすんだ重厚な白亜の壁・柱、レースのカーテンの間から差し込んだ柔かい日差しに、しみじみと「一生感動・一生青春」の言葉をかみしめた一日でした。



宙にもスペースシャトルがとび空気の無い所へまで発展して行くという発想に只々感じ入ります。

年一回の例会でございます。お聞き及びの節は区域を問わずどうぞ御出席を賜りますようお願いいたします。

- 会長 神尾美喜子 (三十一)
- 加藤 綾子 (三十八)
  - 河野 淳子 (三十八)
  - 大島 妙子 (四十八)
  - 源中 松子 (四十八)
  - 黒田まさ江 (四十八)
  - 弥永 瑠子 (高三)

例会当日の写真おめにかけます

や会員の方々が多数京都までお越し下さり、御参加頂いたお蔭で、当日の出席数も増え、和やかに秋の好日を過ごす事が出来ました。

ここに一同に代りまして、厚く御禮を申し上げます。

関西篁会は、戦前から先輩方の御努力により引継がれ、私も当初の出席より数えて、三十八年余の歳月を重ねました。先輩方のお人柄、友情に包まれた心の糧を頂戴致しました。最近、高卒会員の出席が増え、毎年、新しく楽しい個性に出会い、若さに魅かれております。昨年の秋の総会が日和に恵まれ、一同の提案により、今年も十月六日に決定しました。文末に詳細を記します。好季、是非御参加下さい。

隣接の天龍寺や、川遊び等、御散策

の適地、お待ち申し上げます。  
 篁会の益々の発展と、会員皆様方の御平安を心より祈念致し、御挨拶と致します。

平成八年度総会のお知らせ  
 十月六日(日)十一時~十五時  
 於・嵐山、京都年金会館(和食)  
 サントリーホール設計者佐野正一氏  
 のスピーチを予定しております

**(財) 篁会館**

篁会館理事長 吉澤 とよ  
 (高女三十五回)

会報担当の方々、御苦労さまでございます。篁会もこのたび城戸崎新会長を迎えられたことですから、気分一新でよろしくお願い申し上げます。

さて、篁会館は最終段階にはいりませんでした。世情の変化からの影響、その他いろいろのことがありまして一同苦労いたしました。去年暮に百歳を迎えられた旧制十四回生、深澤てる様を含む明治生まれの方々の御苦心を心のささえにしております。

おかげさまで大方の役員の御協力によって、昭和五十三年に亡くなられた元理事長湯河秋子様の遺されました「篁会館の根本的にまもらなければならぬこと」はお約束通りまもることができましたので、ひととしております。私も八十歳に近くなってまいりますので、一日も早く整理を完了したいと思っております。

**(財) 竹早会**

**クラス会、サークル活動に  
 八ヶ岳寮をどうぞ**  
 (財) 竹早会理事長 岩田 隆子 (高校11回)

竹早高校在学中に八ヶ岳寮で過ごされた楽しい思い出をお持ちの方もたくさんいらっしゃる。お久しぶりになります。久しぶりにクラスメートとお誘い合わせ清里でのクラス会は、いかがですか。参考までに今度八ヶ岳をご利用になったご様子をお知らせしてみましよう。

先生を囲み時間を気にせず遅くまで想い出話に花を咲かせ翌日は飯盛山に登られたクラスもいくつかございます。この時は牧場の入り口まで寮の車でお送りして、荷物は登山口のペンションに預けての、身軽な登山。殆どの方は頂上を征服し、八ヶ岳連峰、甲斐駒、南アルプス、富士山、秩父連山、浅間山、信州の山々と連なる三百六十度の展望を楽しめました。帰りは手配したタクシーで駅までドライブ。それから、楽器を持ち込み暖炉の前でのミニコンサートを楽しまれたクラスもあります。クラシックなピアノもありますので、皆様でコーラスを楽しむこともできます。



食養生のセミナーに揃って参加下さったクラスもございました。また、何年ぶりかで恩師のご講義を受け勉強する楽しさを思い出したクラスもございます。その他清泉寮を初め美術館めぐり、ゴルフなどいろいろなプラン、バスのアレンジ、切符の手配等のご相談にも応じます。都心より車で二時間半、恵まれた自然と自分達の宿だという気軽さは他では味わえない醍醐味でしょう。卒業生以外の方でもご利用可能ですので、サークル活動、あるいはゼミ旅行等にもご利用下さい。

連絡先 〇三三九四三二四一五  
 (財) 竹早会 岩田 隆子

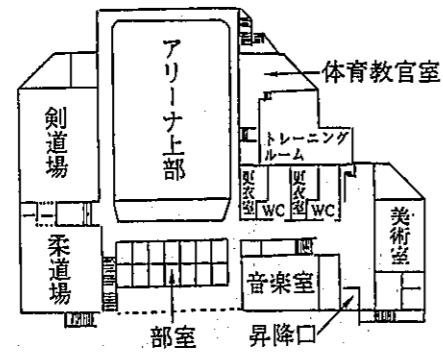
**学校の現状**

**体育棟・グラウンド完成**

教頭 高原 将

ナは、長さ三十四メートル、短径二十七メートル、高さ九メートルで、バレー・ボールやバスケット・ボールのコートが楽に二面とれ、全校生徒七百七十名が集ってもまだ十分ゆとりがあります。これからは体育の授業、クラ

平成六年五月にはじまった体育・芸術棟の工事は、基礎・地下一階・一階と進み、平成七年に入ると二階部分に相当するグラウンドの建設がはじまりました。高さ十二メートルの防球ネットの柱がグラウンドの周囲に三十四本建設され防球ネットが張られ、コンクリートの人工地盤の上にモルタルを貼り、その上にウレタンを敷き、さらにその上に人工芝を貼るといふ大変ユニークなグラウンドがほぼ完成したのは、平成七年十二月でした。地下一階のアリーナ、一階のアリーナ上部をはじめとする諸施設の内装や正門等の工事や植栽まで含めて本年一月末にはすべての工事が完了し、検査後、二月末に引き渡され、三月十一日に引越しました。体育・芸術棟一階の配置図は下段の通りで、地下一階と一階の一部を占めるアリー



ブ・部活動のみならず、アリーナには舞台もついているので、入学式・卒業式・始業式・終業式をはじめ文化祭・講演会・学校説明会等で大いに活用されることになることでしょう。百十九畳敷きの柔道場、それよりやや広めの剣道場、元からあった自転車漕ぎのマシン十数台に加えて、ここで約五百万円ほどのマシンが購入され、まるでジムさながらのトレーニング・ルーム、校舎棟の仮住いからやっと本来の特別教室に移った音楽室・美術室等、卒業生の皆様も、是非一度新校舎を御

見学下さい。(なお、見学御希望の方は、事前に学校にご連絡下さるようお願い致します)  
 なお、去る三月十六日(土)には、平成二年からはじまった改築工事苦勞ばかりで新校舎を利用できなかった四十三回生から四十七回生まで約千四百人の卒業生と「父母と教師の会」役員・理事、この五年間に退職・転勤なさった先生方、そして篁会の理事の皆様、に新校舎の御案内を差し上げたところ延二百人近くの方に御参加いただき見学していただきました。校舎棟の建

資料提供への御礼と  
 更に御願  
 前号で百周年にむけて卒業アルバム等の本校の資料を収集しており、卒業生の皆様の御協力を御願いたしましたところ高校六回生(昭和二十九年三月卒)と高校八回生(昭和三十一年三月卒)の方からアルバムを御借り出来、多くのページを複写して資料として保管することが出来ました。誠にありがとうございます。また、「創立三十周年記念、体育運動写真帳」という二十九ページ、百二十枚からなる、昭和三年に作成された写真帳を昭和五年三月卒の木原喜代子様より借用できましたので全ページ複写し保管することが出来ました。内容は第二高女の先生方、生徒諸君の陸上競技、バレー・ボール、バスケット・ボール、テニス等の活躍の風景、参加した第九回極東オリンピックの思い出、上井草でおこなわれた運動会の風景など、百周年記念誌を作成する時には、誌上を飾るであろう貴重な写真が多く含まれています。また、これらの写真の複製の費用は、篁会から御出しいただいており、御礼申し上げます。さて次の年度の卒業アルバムは、現在も学校に保管されていないので、是非、御貸し下さるか、御譲りただければ幸いです。

第二高女	卒業	
14回生	大正	3.3
15 "	"	4.3
24 "	"	11.3
28 "	昭和	3.3
37 "	"	12.3
45・46 "	"	20.3
竹早高校	卒業	
1回生	昭和	24.3
5 "	"	28.3
13 "	"	36.3
21 "	"	44.3
28 "	"	51.3

## 先生の消息

体育  
大西千恵子先生  
(旧姓布施)

### 激動の竹早時代

竹早高校にいらした潑刺とした先生は、すでに都立西高で二年間教鞭をとられ、竹早には昭和二十八年から四十六年三月までの十八年間いらっしやいました。

「竹早時代は私の人生の中で、まさに凝縮された時間でした。娘時代から結婚して母親になり、夫の葬式まで出したのですから。夫が亡くなったとき



には、夫も親も兄弟も頼りにはできない。頼りになるのは自分だけ、教師をしていて良かったとつくづく思いました。また他人からもそういわれましたし、仕事と家庭を両立させる秘訣は何ですかと、良く質問されました。」

幼稚園のお子様を抱えての孤軍奮闘は他人からは計り知れないものがあったと思われませんが、その後練馬高校に十三年間、小石川高校に一年勤められ、それから、青山学院短期大学に迎えら

れました。  
勉強の楽しさを知るこの頃  
先生の情熱に火をつけたのは民族舞踊でした。一九九二年から九三年にかけて、在外研修の場をポーランドに求められました。

ポーランドではナショナルダンスとあって、国民みんなが踊れるダンスとして、日本でもおなじみのワルツやポロネーズ、マズルカなどのほかにクラコビアフとかオベレクというリズムがあって、民族舞踊の宝庫なのです。そのダンスが教育の中に、どのように取り入れられているかを研修のテーマにされました。

「ポーランドの民族舞踊というのは独特のものがあるんです。首を突っ込んだら、もう次から次へと知りたいことがどんどんふくらみましてね、毎年行かなければならなくなってしまいました。今では資料がダンボールに何個にもなっていて、整理する暇がないんです。大学をやめるまでに、ポーランドの民族舞踊史としてまとめたいと思っているんですけど、こんなに勉強がおもしろいと思っただことはありませんね。」

すっかりポーランドに魅せられてしまった先生です。

担当  
五十井鈴子・大久保摩子・宗原恭子  
(六回生)

## 日本列島卒業生便り

### いい顔に心の栄養

水野 累 美 子

( 高 校 3 1 回 )

竹早高校を卒業してからいつの間にか十七年も過ぎてしまいました。大学卒業後、福島県の住民となり、住んでいる所は住宅地ではありませんが、海も山も川も、車ならわりに近く、自然に恵まれています。自然に恵まれているのは良いのですが、何とも文化水準の低さには驚いてしまいます。いわき市役所の建物は立派ですが、図書館、公民館、市民会館など、建物そのもの、その内容は、東京で育ち、日々あたりまえと思っていたものは、ここにはありません。この文化水準の低い土地には、全国で有数の中学浪人が、今もいるのです。今年も入試を終え、

何人の子供達が一年間、または二年間を『受験、受験』と追い立てられるのでしょうか。男子は磐城高校、女子は磐城女子高校に入学するために、本人の意志なのか、はたまた親か、先生の強い希望なのか、私にはよくわかりませんが勉強するのは、『磐高生にあらずば人にあらず』という言葉があるくらいです。

ここで私は三人の子を産み、育てています。長女は今春、中学一年生になります。長男は六年生、二女は四才です。もうすぐ上の子供達はこの受験戦争に巻き込まれます。でも私はもっともいたいのです。頭でっかちではなく、骨太の青春を送ってほしいのです。

この原稿を依頼されてから、日常の忙しさに忘れていた、楽しかった高校生だったころの自分を思い返しています。大好きだった先輩や美術の先生。勉強は嫌いになってしまいましたが他にいろいろ学びました。『規約改正委員』と称して、生徒会規約を変えようと大騒ぎをした年でした。何の拍子か新聞部に

入り、授業には遅刻したのに『竹早新聞』を印刷するときには朝七時には輪転機を回していました。そんな高校生活でしたが友人にも先生にも恵まれました。三年生の担任が、国語の阿部先生で、最後の時間に好きな事を書きなさいと原稿用紙を配られたとき、私はたしか『美人でなくてもいい』『いい顔』をしていたい。』と書きました。これまで『いい顔』をしてきたかどうかは、ちょっと疑問です。でも私は、子供達にはいつも『いい顔』をしていて欲しい。』にここにこしてると可愛いね。』にここにこしてるとお友達たぁくさんできるよ。』

長女の卒業文集の、クラスのベスト3の中で『笑顔のすてきな人』一位に娘の名がありました。この一位は私にとって何よりも嬉しい一位でした。身体の栄養も大切ですが、心の栄養も考えねばならないと、子供を育てながら痛感する今日この頃です。私自信も心の栄養不足から少々怒りっぽいかしらと反省しています。

伊能忠敬の血筋

藤田 淑子 (高女四十八回)



私の母、万寿子は伊能の家から父斎藤良俊に嫁いでまいりました。母から聞かされたところによりますと、私どもは江戸時代に日本地図を作成したことで

著名な伊能忠敬の子孫で、母はその七代目、私は八代目にあたります。戦災により失われたものもあり、私が母から受け継いだ伊能忠敬ゆかりの品は、松浦瀉を眺めての所感を記した小さな色紙一枚だけで、肝心の伊能地図は一片もありません。伊能地図は各地に散在し全体

の所在が明らかでなく、探究の研究があるほどですが、昨年の秋にフランスから里帰りの伊能地図(最終版、完全な八枚揃、発見は二十年程前にブルゴニユで)が佐原市の中央公民館で公開されたとき、私も拝見し、江戸時代としては高齡であつた五十才で家業を捨て、歩きと手書きで精緻な日本地図を完成したご先祖様の勇猛心に、あらためて敬意を表してまいりました。

第二高女で学んだころから現在までの約半世紀に及ぶ自分の生涯を回想しますと、忠敬様のような優れた業績とは無関係ですが、方向転換をためらわず、また年齢にめげないで新しいことを始める気質は私にも流れているようです。夫、藤田宏に言わせると(彼が機嫌のよい理解

者であるときは)「さすが伊能忠敬の子孫」となり、(機嫌の悪い被害者であるときは)「往生際が悪い」ということになりました。

私が生んだ子は長男彰(内科医)の一人だけですが、学校はいくつも出ました。列挙しますと、東京女子大(数学科、卒業)、東大(数学科、選科生)、都立大(生物学科、卒業)、東京医科歯科大医学部(難治疾患研究所人類遺伝学専攻生)、スタンフォード大(数学科、聴講生)、東京鍼灸・柔整専門学校(卒業)です。実は、これだけで終わらないで、アジア文化会館の中国語のコースに今も通っています。都立大までは親が月謝を負担してくれましたが、東京医科歯科大からは結婚後ですの夫が出してくれました。

医科歯科大では遺伝病の遺伝子頻度の研究を故田中克己先生の御指導で行いましたが、夫の長期海外出張に伴ったために中断期間があり、結局、十七年かけて医学博士の学位を頂戴しました。

現在、国立国際医療センター

病院の麻酔科に勤務しています。が、この鍼灸はペインクリニックが第一のテーマで、これ

までにおよそ六十万本の鍼を打ち、百五十万打(社は灸の単位)の灸をすえました。

活字世界から電波メディアへ

高橋 紘 (高校十二回)



(MTV)ってご存じですか。

昨年開局したばかりのU局でサーブエリアは都内一円と神奈川、千葉の一部。専用アンテナを付ければ、無料で見ることもできます。既存のテレビ局と趣向が同じでは、魅力がありませんので、基本コンセプトは「ANOTHER WAY」です。

放送は二十四時間休みなしでその半分の十二時間がニュース番組に当てられ、朝、昼、夕、

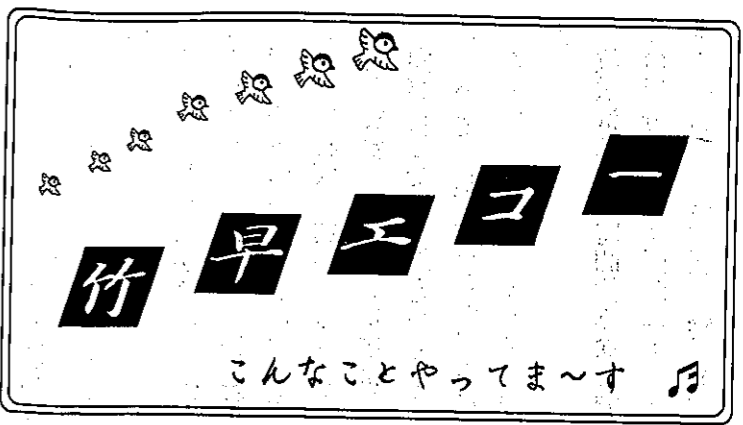
夜、深夜と五回あります。ほかに十五分に一回の天気情報。交通情報は高速、一般道路の混み具合が、地図で示されます。

「東京密着」も売り物のひとつです。いまでは珍しくなった銭湯や東京人インタビュー、都議会の生中継、知事会見。各区域多摩地方に配された記者が、路地裏まで細かい出来事をレポートしています。

しかし生まれたばかりですから、番組の内容などに欠陥はあります。ニュースは何回も繰り返されますが、それは「あなたがスイッチを入れたときがゴールデンタイム」という発想によるものです。

今までとはまったく違う経験何人もの異業種の人を知り、「日々是新」です。新橋から新交通「ゆりかもめ」で臨海副都心に通うのですが、ここからの眺めは素晴らしい。東京湾を一望に望め、とくに夜景がきれいです。ぜひ一度、未来都市の見学をお勧めします。わがMTVもよろしく。

(東京メトロポリタンテレビ報道局長)



世話をしてくれる孫娘夫婦も六年生の曾孫息子もやさしくて 私は幸せです。皆様は 大変永い間の御高配を感謝いたし 算会の御発展 永遠を祈ります。

☆高女二十二回 ☆大正十一年卒  
向坂 ゆき

木造二階建もなつかしい竹早の学び舎を共に築立った四十四名は、八十年に近い歳月を経て十二名となってしまいました。昨年は三月に河村幹枝様、十月に高橋幸子様が御逝去、残された十二名も、日野様、大谷様は長期御入院中、井沢様は御自宅で一年余を療たきりとなられ、稲生様は暮に足の骨折で御入院、田中、岡本、尾山、淵脇、甘利の皆様は御満足御不自由やら御体調おすくれになりませんかやらで、御健勝は峯島様河西様ぐらいでしょうか。

☆高女十四回 ☆大正三年卒  
深沢 てる

旧冬 満百才になって消息を申しませす。昨年四月に狭心症をおそれて入院をすすめられ 約一カ月の入院で退院。その後月に一回 診察に行き 諸検査点滴などうけ 家ではベッドに横になり元気で人様とお話しして居ります。幸せなことに脳関係も記憶力も年齢以上にはずれれることもないらしく快談して居ります。要するに私の病因は 幼時より 水分摂取が不足の結果の由 どうぞ皆様もお気をつけ下さい。

配慮のおかげで、昨年は敬老の日の御祝い、お健やかに年輪を重ねられますようにとバウムクーヘンをクラスからの贈り物とし、皆様は(御介護の令息令嬢、お嫁様の御代筆もありがたく)およろこびいただいたのも峯島様のおかげでした。

「府立第二の秀才」そして卒業後は社会的に、また家庭的に妻と母として第一級であられた旧友たち。辛うじてあとについて来ました私が、今回もまた拙き御報告をいたすめぐり合せとなりました。

皆様、残り少ない命を頑張っ、懐かしい母校の一層の御発展を共に祈りましょう！

☆高女二十六回甲 ☆大正十五年卒  
木村 陽江

今年はいよいよ年である様祈りながら一回米寿を迎えました。在校中の五年間は慈母のような高木先生、マラソンの元祖金栗先生が担任で鍛えて頂きましたことは、一番の思い出仕合せなことでした。皆様のお姿思い浮かべながら先に悲しいお知らせ致します。平成六年六月八木君江、十二月浜中きみ子、七年二月石井秀子、三月影井多花九月大河原きん様方の御逝去のお知らせがありました。皆様と御一緒に御冥福を祈りましょう。紙面の都合で一部の方の御消息のみになり申し訳れござい

こうした中で峯島様は茶道に、峯島家の伝統行事を守られる御重責に、御多忙を極められます。なにぶんにも九十一才を越えた私達、御無理なきようひたすらお祈り申上げております。そしてクラスへの変わらぬありがたき御びでした。

☆高女二十八回乙 ☆昭和三年卒  
荒井 きく

私達は春のクラス会を渋谷の「天一」で開きました。出席者は吉井様、工藤様、森田鷹子様、内藤様、小林様、池田様と私でした。皆様お元気で女学生の昔に戻って気ままに談笑。「天一」さんのご好意で時間を延長して頂いて、ゆったりと楽しい気分を味わいました。

☆高女三十回 ☆昭和五年卒  
山口 春野

アメリカに禅を培ひし佐々木指月 遠き亡き友の父君なりし 親しみてまたいさかひで別れし友 文箱に文いまま残れる (平成二年)

ません。山内様、長い御主人様の御看護大変でいらっしやいます。秋山様、昨年七月御主人様お手厚い御看護のうちに御逝去、お疲れでしたが今はお元気になれました。若々しい榊端様が暮から新年にかけ御病氣でした。珍しいことでしたが、今は元気におないます。鳥羽様、駄目駄目と仰しやりますが、御主人様のお世話は大丈夫。杉様、白内障の手術が成功、よございませす。菅野様、ホームの生活にもすっかり落付かれ御活躍、砂川、安藤様、引き続き絵の御勉強で御交流。等々、もっと書きたいこと沢山残ってしまひ残念ですが次の機会にさせて頂きます。

☆高女二十八回甲 ☆昭和三年卒  
福田 千菊

世の中のためまぐるしい動きの中、私共のクラスでお元気な方は杉、石田、三木、松宮、山下、杉浦、市川、中村、成瀬、正木、金森、粕谷、河本、青木、戸塚様は入院中とのこと。

三月二十六日の学士会館での集寿会では、大阪の河本様、小梅の正木様、大磯の粕谷様ともお目にかかれる機会

秋にはもっと素晴らしい会場を捜そうと張切って居りましたところ、八月十二日に私の主人が脳梗塞で倒れました。辛い軽症でしたので現在自宅療養をして居ります。「一寸先は闇」と申しますが、全くその通りだと思えます。私は生まれて始めて付添看護の生活をしていきます。私も高齢ですのでも大変ですが、これも宿命だと思っ頑張って居ります。残念ではございませがクラス会の幹事は出来なくなりましたので、吉井様をお願いしました。吉井様のお世話で在京の加藤様、佐藤様、工藤様、小林様、森田鷹子様、吉井様がお集り下さって新宿で会食をなさいましたそうです。吉井様はおからだの調子がわるく、幹事は皆で相談してきめたいとおっしゃっていらっしやいま

したので、佐々木生子さんのことを級委員の伊藤さんは全く覚えていられないので、ほかの方々もどうかしら。アメリカ生まれの小柄のおかっぱの淡茶色の上着を着たおとなしい少女に、私は入学して一番初めに声をかけられました。それから親しくお宅にも伺い毎日手紙を書き、親しくなりすぎたためか、あとではどうしてかわからないまま離れてしまいました。その後中退してアメリカに帰りこくなられたと、その頃親しかった赤尾さんにききました。今度もう少し伺いたいと何度電話しても、留守番電話でだめでした。今一番会いたい人なのに。父君のこともっと前に知ったらその道の人たちにきくこともできたのに。アメリカに禅を広めた千崎如幻年表

(金子寛哉作) 昭和二年の記に「佐々木指月師がニューヨークに居をかまへ両忘会禅堂を開き、白人専門の伝道を開始した。傍ら日本人のために仏心会を組織し、一、十五の両日は日本人クラブで講演した。又同市にはダルマパリー師の高弟ブアシラナ師が布教を続けていたが、先年閉鎖したので、その会員は多く佐々木師の協会に加入した」とあります。生子さんはこの頃御一緒だったのでしょうか。

☆高女三十一回 ☆ 昭和六年卒  
長津 みち

私共は卒業以来六十年を数え、高齢化社会の中でもトップクラスの年齢です。毎年何名かの級友を見送り淋しい限りですが、一方から考えればこれも長命の証ですから嘆いて許りも居られません。

お元気な方も多く、絵の個展を毎年銀座で開かれる方、絵画や書道に精進され、教室で教えて居られる方もあり中には今だに盛業中の企業のトップとして活躍されている方もあります。

私も専門の英語の他、趣味の古典文学の勉強会に出席して余生を楽しんで居ります。万葉集や源氏物語等の日本の古典文学を学ぶ事によって、私共の祖先が培って来た文化の偉大さに心を打たれます。

インターネット等によって世界のあ

☆高女三十八回 ☆ 昭和十三年卒  
瓜生田 俊子

昨年は恐ろしい事の多い年でしたが、今年には明るいクラス会が開ければよいと思っております。篁寿会に出席される方と相談して決めたいと思います。

阪神大震災から一年が過ぎました。

大阪の石田さんも神戸の片山さんも御無事でしたが、御不自由なことも多かったと思います。片山さんは昨秋上京された時に後藤さんがお会いになつたそうですが、とてもお元気だったそうです。後藤さんは木更津に移られ、御子息様御一家と一緒になられおしあ

☆高女三十九回 ☆ 昭和十四年卒  
四谷 桂子

平成七年度のクラス会は有馬様、山本孝登様のお世話で、四月十九日、小石川後楽園内の涵徳亭で開催されました。参加者十八名、多数の級友が集まりました。学生時代と同じように、にぎやかなおしゃべりに花が咲き、皆様五十数年前と変わらぬ明るい笑顔でした。雨上りの若葉の美しい木々を眺めながらの園内の散策等、本当に楽しい一日でした。

今回は稲見様、岩間様の幹事で四月下旬の予定です。

悲しい御訃報ですが、和田智恵子様永い間病床にありましたが、七月二月

らゆる情報に手の届く昨今、ユニバーサルな考え方が必要とされる事は当然ですが、それと同時に日本の古典や歴史に親しむ事によって、民族独自の文化や思想を見直す事もまた大切な事だと思えます。若い方々は日々御多忙の事とは存じますが、少しでも暇を見つけて古典を学び、日本人の原点に立って未来を展望される様希望致します。

☆高女三十四回甲 ☆ 昭和九年卒  
岡 茂子

私共のおおかたは平成八年八十才になろうとしています。甲組では卒業時は四十八名でしたが、二十八名がこの想像もなかった年令に辿りつきました。この喜びを自祝しようと、今年甲乙合併のクラス会を甲組では川田、牧田さん、乙組では南、大田さんが幹事になられて計画中です。どうぞ

☆高女三十七回 ☆ 昭和十二年卒  
福田 耀子

昨年も例年のように十一月末に、赤坂の吉祥でクラス会をいたし、十九名が集まりました。関西にお住まいのお二人が元氣なお姿をみせて下さって、大へん嬉しくございました。災害にもめげず、明るくお過ぎの強い精神力に、皆々感服いたしました。

前回のクラス会には出席されていた

お誘い合せて多数の方々が御出席下さいますようお願いいたします。

甲組では昨年の六月二十日、金指、松丸さんの幹事で新宿中村屋でクラス会を開きました。出席者は松野、上野、野口、青田、松丸、牧田、満田、川田、金指、岡の十名でした。小人数の親しさで本当に打ちとけて話し合いました。殊に金指さんの何回も手術を繰返した十二年間の長い闘病生活に、そして今に続く様々な障害等細々と話して下さった事が印象的でした。こんなに具体的にお互いに話し合えるのも年をとった賜と思えました。

金指さんはその闘病生活の中にも茶道に精進を続けられ、今や裏千家の名誉師範として立派なお弟子さんを多数育てられました。今は時折の旅行が楽しみとの事、その美事な生きさまに、一同感嘆いたしました。

お二人が、五月と八月に相ついで他界され、急に淋しくなりました。親鸞上人の

「明日ありと思ふ心のあだ桜 夜半に嵐の吹かぬものは」の下の句が、特に痛切に身にしてみてもえられるようになりました。

これからは「今」を大切に、年一度お会いして若やぐチャンスを大事にしましょうと、再開を希って散会いたしました。

次会へと楽しい一日を過ぎました。

今年も春頃クラス会がございます。

多くの方々御出席下さいませ。平成六年九月七日に岡野(小針)周子様が平成七年八月三日に遠藤(坂下)俊子様が御逝去になりました。心より御冥福お祈り致します。古稀を過ぎたとは言え、旧友の訃報に接することは淋しいものでございませ。健康に留意致しますよう。

服部先生は、多くの方々御厚意で辻堂の病院へ御転院後病状も安定していらっしやることとでございます。湘南にお住いの関根様、松本様、山口様には色々お世話をおかけしております。感謝申し上げます。

☆高女四十二回 ☆ 昭和十七年卒  
手嶋(木暮) 實枝子

この一年間、またまた大勢の皆さんと何回もお逢い出来ました。三月には篁寿会。次に六月のクラス会には日本橋DIKビル十八階のレストランで、レインボーブリッジや飛行機の離着陸など、すぐそばみたいに見ながら、三十人楽しく喋りました。何十年ぶりという方もあり、でも会ってみるとつい昨日会ったようにお話し出来ちゃうってほんとに嬉しいですね。ふだんお会い出来ない方も、ふいっと思いきって、或いは何かおついでを考えてお出で頂けると嬉しいですよ。次は七月下旬、白馬山麓トレッキング。ちょう



ど豪雨禍のあった時期、場所、被害に遭われた土地の方には申しわけないようでしたが、雲の中、見え隠れする白馬連山を眺めながら歩きました。十一月、恒例の二泊三日の旅行、四国でした。瀬戸大橋を海から眺めたり、高知、松山など愉快な旅でした。一月、少し遠出の新年会、熱海の小高い丘の上、大海原を望レストランでフランス料理、二十一名でした。あと十二名でホテルに泊。すてきでした。これらの間に年間数回の昼食会などあります。ただ、こんなに楽しい中、中山様、武藤様、田川様が亡くられました。ほんとに悲しい事です。皆様、御自愛の上、楽しい語らいを続けましょうね。



☆高女四十三回☆昭和十八年卒  
百竹会

私達四十三回生の百竹会は、平成七年六月五日に東京港区の白金亭で三十六名が集い、賑やかな時を過ごす事が出来ました。小林、林の両先生は数年来御病氣、御療養での御不参加にいた藤井先生も十年来自宅看護されていた御主人様が一年前に亡くなられ、その後御自身もお疲れで健康を損なわれ御欠席でした。この一年間は、皆誕生日を迎えると七十才古稀と呼ばれる年となりますので、先ずワインで乾杯した後、充分のお喋りを昼食と共に楽しみました。

卒業以来始めてという方も含めて、久々に参加された方の多かったのも今回の古稀の会のせいかも知れません。また欠席者のうち、御自分の御病氣やお怪我が十三名、御家族の御病氣のお世話が八名という事は、私達の年齢を感じさせられ、散会の時には残りの年月に一回でも多くお目にかかりましようと言った皆で話し、来年の会の世話人をお願いしました。

最後になってしまいましたが、此度集会の会長に四十三回生の「城戸崎愛」さんが就任されました。色々な事を後輩に指導しておられますが、NHKテレビ等のお料理番組で、にこやかにテキパキと教えていらっしやるお顔

の中にはまだまだ現職で活躍していらっしやる何人かの方達のある事も解り、一同大いに励まされたことでした。

☆高女四十五回☆昭和二十年卒  
青木 美樹子

昨年の級会は、恵比寿ガーデンプレイスタワーの東天紅で、幹事の白田武子さん南日一恵さん平瀬栄子さんのお骨折りで開かれました。恵比寿駅から「恵比寿スカイウォーク」で、雨の日も濡れずにアクセス出来るという新名所での絶景を楽しむに集合しましたが、

☆高女四十六回☆昭和二十年卒  
今井 久子

平成七年の若竹会は、十月十二日(木)に小林先生、吉田先生をお迎えし新宿歌舞伎町の車庫本店で開かれ、三十六名もお集まりでした。体調を考え椅子席の西洋割烹の店をえらびましたが、皆様も苦笑のご納得で大喜びでした。席順もクジ引きにし、いつもとは違ったお隣の顔に新しい話題がはずんだり、身軽に移動して一年ぶりの旧交を温めたり、学生時代に返って笑声の絶えない一刻を過ごしました。

昨年は戦後五十年という事で、記念行事が種々ありましたが、私達若竹会

を御存じの方が同窓生にもおいでと思えます。皆様から、前会長時にも増して何かとお助け頂ける事を四十三回の一同期待して居ります。

☆高女四十四回☆昭和十九年卒  
鈴木 哲子

高女四十四回生は一昨年が卒業五〇年という事で、久しぶり関西での級会となり、翌日は修学院を見学する事も出来て大変意義深く、良い思い出となりました。その後すぐ翌年一月に阪神大震災でしたので、殊の他関西在住の同級生の方々の安否が案じられました。西宮の渡辺さんがお住い全壊に、長年積重ねられた研究資料をやっとの思いで手許に戻されるという被害に会われましたが、その他の方々と共に御家族もご無事であったのは何よりの事でした。

昨年九月には続けて一泊の級会を箱根で致しました。塔の沢の一の湯、早川沿いの創業三百年の古い旅館で、広重の箱根七湯の浮世絵のモデルにもなった宿です。集まれたのは三十一人午後それぞれ宿に到着、早速温泉に入ったり、部屋でおしゃべりをしたりした後、夕食六時から大広間で級会となりました。何より今病中にある方々が氣遣われ、幹事の解る限りの御様子を報告致しました。そろそろ次の大台に乗ります年令にも拘わらず、欠席の方

方々に心よりお礼を申しあげます。

☆高女四十七回☆  
昭和二十一年・二十二年卒  
吉田 堪子

去る十月七日(土)前回と同じ松栢軒(女子栄養大学内)で同期会をいたしました。幹事さんより春世先生は遠路のため欠席とのこと、また杉田(三室)様が六月十四日に急逝なさったとの悲しいお知らせがありました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。出席者は二十六名。大学の方々の心尽くしの洋食を堪能し、穏やかな秋の日の一時を過ごしました。近況報告の中に、大野(大杉)様の銀座での写真展のこと、またイタリア旅行へのお誘い等々皆様の活躍ぶりを垣間見ることが出来ました。

今年には集寿会の当番学年に当たりますので、この席をお借りして集寿会へ向けての役割分担を決めていただきました。会の始めに予めお配りしてあった表の要旨を説明し、会の終りまでにお申出いただきまして、皆様快くお引き受けくださって、短時間で決まりました。ありがとうございます。

次回の幹事さんは今沢(三葉)、石黒(奥田)、掛札(向野)、渡辺(高坂)さんにお引受けいただきました。日時その他は未定ですが、皆様の出席をお待ち申し上げます。

翌朝次の機会を約して散会、誘い合って千石原温泉や芦の湖へと、それぞれに箱根散策を楽しみました。生憎の曇り空で、残念ながら景色は余り楽しめませんでした。然し出席者全員の近況報告の三分間スピーチは大成功で、当日の写真と一緒に全員に内容が届けられ、当日の事を思い出すがとして、大変好評でした。

今年度の幹事は浦いとあさんと横山陽子さんがお引き受け下さいました。秋に級会を開かれる予定ですので、皆様何卒ご期待下さい。

にとっては、真に卒業五十周年の年でございます。喜びも悲しみも、振り返ってみれば、ここに生かされている日々を痛感致します。殊にご高令とは思えないお元気な両先生の、前向きなお暮らしぶりは、私共にとり、老いてますます健康で美しく生きる指針ともお見受けしました。この年令になってもお教えられる事の多い両先生に感謝をこめ、五十周年の記念品をお贈りする事を満場一致で決めました。

昨年集寿会最後の当番幹事を、安永道子様を中心に無事済ませました。若竹会の有志の皆様、誠に苦勞さまでした。

会報を読む度に集会の歴史の重さを卒業生として誇りに感じます。編集の

☆高女四十九回☆昭和二十四年卒  
☆高校二回☆ 昭和二十五年卒  
金子 浩子

平成七年は、同期生全体としての行事は行われませんでした。しかし、四年前に算会総会の幹事役をさせて頂きました後、「反省懇労会」をかねがわ女性センター(江の島)で行いまして以来、開催地に因んで「江の島会」となつて隔年の集りが始まるようになりました。昨秋も上村様、多賀様、星野様のご尽力で、開催地は逗子の「湘南国際村センター」出席者十七名で一日二日の懇親会並びに討論会(?)が活発に行われました。その後、大塚様の

☆高校四回☆ 昭和二十七年卒  
小林 園子

平成七年度の同期会「紫竹会」は、五月二十八日に後楽園サテライトホテルで開かれ、出席者は二十五名でした。私は卒業以来長い間紫竹会にご無沙汰しておりましたので、お久しぶりに皆様にお会いし、旧交を温めることができ、感無量でございます。  
紫竹会終了後、在学時代立ち寄ったことのある小石川後楽園のお庭を散策いたしました。新緑の池の端のベンチに腰を下ろし、思い出話に花を咲かせ楽しいひとときを過ごしました。

☆高校七回☆ 昭和三十年卒  
志賀 真砂子

高校七回生、七賢会の皆様へ  
昨年この欄でもお報せしました通り、明年度の算会総会は私達が当番幹事となります。会場はこの度新築なつた母校、竹早高校を、算会としては初めて使用させて頂ける様、お話を進めて居り、懐かしくも喜ばしいことを存じます。  
然しながら、会の内容についてはまだ何一つ決定していませんので、これから皆様方のお智恵を集め、お力をお借りせねばなりません。具体的には、

☆高校九回☆ 昭和三十三年卒  
岩野 龍好

第九回生九算会開催  
平成六年十一月五日に、銀座扶容会館にて第九回生(昭和三十三年卒)の第三回目の同期会が開催されました。

この同期会は当初毎年行つ予定でしたが、二年ごとに行つてはこの意見があり二年置きに開くことになりました。今年はその開催年に当たります。いづれ幹事からのご通知が出来ると思ひます。毎年十一月に行われて集前回は約四〇名程度で少々淋しい集

「厚意により有志で横須賀のお宅に寄せて頂き、更に交流を深めた次第でございます。  
今年秋に級会を、幹事入澤、小平、駒崎、黒岩、長縄、金子で開催予定で計画中でございます。お元気で皆様多数のご出席を期待致しております。  
なお、お目下たいお報せがございます。級友の長縄泰子様が、長年のお人形制作研究が日本文化振興会の認めるところとなり、作夏、社会文化功労賞を「受賞」されました。誠にめでたうございます。秋の受賞祝賀会には、入澤様、井上様、斎藤様、西村様の級友がお祝に駆けつけられました。

このたび八年度の幹事をさせて頂いたことになり、紫竹会の書類を引き継ぎました。克明に記録された毎年の紫竹会の様子を讀ませていただき、卒業後四十四年間の歴史が刻まれていると思ひました。お世話くださった幹事の方々のご尽力に頭が下がりました。八年度の紫竹会は、初夏に開く予定でございます。皆様のご出席をお願い申し上げます。

高橋(伊藤)光枝様 平成二年  
齋藤(米本)箆子様 平成七年四月  
守田(小花)薫様 平成七年十一月  
ご逝去なされました。ご冥福をお祈り申し上げます。  
一、本年度の総会会場、アルカディア市谷(私学会館)に於いて、総会に引きつづき、併せて七賢会同期会も開催いたします。お誘い合せて多数お集まり下さいます様、重ねてお願い申し上げます。  
一、昨年三月五日、恵比寿ガーデンプレイスにて同期会を開催、何年振りかの珍しいお顔のほか、男性諸氏が多く出席され、嬉しいことでした。同様に今年も大いに盛り上がることを、期待いたして居ります。

先ず多数の方々にお集まり頂くのが何よりですので、どうぞ今年の会合には万障お繰り合せの上、お出かけ下さいませ。  
一、本年度の総会会場、アルカディア市谷(私学会館)に於いて、総会に引きつづき、併せて七賢会同期会も開催いたします。お誘い合せて多数お集まり下さいます様、重ねてお願い申し上げます。  
一、昨年三月五日、恵比寿ガーデンプレイスにて同期会を開催、何年振りかの珍しいお顔のほか、男性諸氏が多く出席され、嬉しいことでした。同様に今年も大いに盛り上がることを、期待いたして居ります。

期待しております。  
ご出席下さった先生方も「高令になられておりますが、皆様それぞれお元気に活動の様子でした。  
私達も卒業以来の再会の方々もおられ、高校時代の想い出話に花が咲きました。

☆高校十回☆ 昭和三十三年卒  
角掛 隆  
今年同期の総会を十月五日(土)旅行会を六月一日・二日(土・日)に白樺湖 ホテル・フランシスコへ行く予

☆高校六回☆ 昭和二十九年卒  
佐竹 京子

還暦の誕生日を迎えて、皆様何をお考えになりましたか。「先輩方のお集まり」と思い込み、何となく遠慮しておりました算会総会、昨年はじめて出席いたしました。先生方にお目にかかり、写真家秋山庄太郎氏の楽しいお話をうかがい、食べて飲んでお喋りして楽しゅうございました。  
今年も幹事学年、小山さん、西森さん、大久保さん、宗宮さんら、近くにお住まいの有志の方々、準備に忙しい日を過ごして下さっています。今年の総会は六月二十九日(土)、昨年同期会が開かれた「アルカディア市ヶ谷」が会場です。どうぞ皆様お誘い合せてご出席下さいませ。そしてお手伝いもよろしくお願い致します。総会の散会后、別室にて幹事学年の打上げ会も準備されております。

料理研究家城戸崎愛さんが今年から算会会長です。そして副会長は、何と私達の同期生小山君です。君づけにしたのは、われわれの仲間であることを強調したいから。会長の強つての要望があったと聞きました。皆で総会に出席して、拍手を送りたいと思ひます。そして「ご苦勞ですがよろしく」と言ひましょう。  
では、六月二十九日は是非お会いし

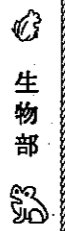
定です。尚、十月の同期総会の会場は未定ですので良い場所がありましたらご推薦下さい。  
※詳細はハガキでお知らせいたします。又不明な事がありましたら私までお電話下さい。  
電話 〇三(三)八二二(〇)二二〇  
FAX 〇三(三)八二三(〇)〇〇六四  
☆高校十七回☆ 昭和四十年卒  
對崎 俊一

本年は四年に一度、オリンピック開催の年に合わせた同期会開催の年にあたります。現時点(二月六日)では開催日未確定ですが、七月中旬以降の土曜日としたとの説が有力です。  
開催に向けて、Eルーム吉田光之君(〒113文京区向丘一七七一四〇三三三八一四六六七七)が中心となつて各ルールの幹事役に声をかけ、準備会を開いて詳細を決めて行きます。皆さんへのお知らせは三月中にはできると思ひます。同期会に関しご意見ご希望、或いは同期生の消息等の情報がありましたら、吉田君宛てご連絡をお願いします。それでは再開を楽しみに—

☆高校十九回☆昭和四十二年卒  
小俣(山田)美代子  
私達十九回生は毎年一回、同期会(一休会)を開き、在学時にはあまり

なかった男女クラスの交流を今になって楽しんでおります。  
旧3年C組は三年に一度のクラス会を昨年開き、人数は十人程でしたがフランス料理をいただきましたが、なかなか時を過ぎました。(その時のシェフが偶然にも竹早の後輩でした。)織戸先生も御参加下さり、ちょうど先生のお誕生日前(この日)で

### OB・OG会だより



生物部  
高校十九回 昭和四十三年卒  
柴本 正美

生物部OB会は新制高校発足以来の生物部出身者を対象として、年代に係わることなく、お互いの親睦を深めることを目的に、三、四年に一回開催することになっていきます。最近では平成六年九月に、辻、三上、加藤、橋本の歴代の顧問の先生方はじめ、六十二名の参加を頂き開催致しました。出席者は第二回(昭和二十五年)から、第四十五回(平成五年)卒業者まで、親子以上の幅広い年代に渡っています。  
当日は、各先生方のお話に始まり、各年代ごとの代表の話などを混じえ、自由懇談の形式で行われました。会場のあちらこちらでいくつもの話の輪ができ、年代を越えての楽しい交歓の場

層盛り上がり、打ちとけた会話をさせていただきました。  
その席で、これからのクラス会はいよいよ食事と気楽な会話をメインに、毎年開きましようということになりました。  
その年御都合が悪くても翌年お逢いすることが出来ますし、クラス会という堅苦しさを感じずに御参加いただけ

となりました。

残念なことに、平成六年以降の卒業生にはOBがいなくなってしまう(現在は生物部は活動停止)、寂しい限りです。地球環境が問題になり、生物関連の研究が重要視され今日、是非復活されることを切望致します。

なおこれまでは第十九回卒業者が幹事役を行ってきましが次回からは第二十七回以降の卒業生にバトンタッチします。前回OB会の案内状が届かなかった方、住所変更をされた方は阿藤正道氏(名簿担当、二十七回卒)まで連絡をお願い致します。  
電話 〇三三九六九一八八三

### バレー部

平成七年度幹事 羽田 明  
高校四十六回 平成六年卒

竹早高校バレーボール部OB・OG会は、上は大正卒の高女の方々から、下は卒業したての者まで、総勢約七百五十名で成り立っています。活動とし

### 七年度総会報告

坂本たま子(高校五回)

平成七年六月三日(土)、美しく新装成ったばかりの如水会館スターホールは、華やかな雰囲気にも包まれ、軽い緊張感と楽しい期待とともに、七年度総会は開かれました。会場の入口には、竹早会の活動を知って頂くとして作品の展示もあり、チラホラと男性の姿も見受けられたのが、これまでの総会と少し違っていたようです。

議事は滞りなく進み、美味しい料理で一服。当日のイベント、秋山庄太郎氏の講演「我が青春、そして花」。青春のころのお話、スライド上映で大画面に写し出される往年のスター達の映像に、時代を共有したお姉さま達は、特に懐かしさと多くの共感に包まれた一刻の感がありました。スライド上映のお手伝いは、秋山氏の弟子でもあり当番学年の同級生で、現在活躍中の写真家、齊藤康一君でした。沢山の写真を用意して頂いていたにも拘らず、時間の関係で割愛を余儀なくされ、申し訳ない事になってしまいましたが、何

るのではないかと思っております。ほっと一息つけるような、楽しい集いになるようにと願っております。  
今年の幹事さん  
富岡静子さん(旧姓自見)  
電話 〇四八四一七二四六八〇  
一人でも多くの方の参加をお待ちしております。

ましては、年一回会報を発行し、春と冬に定例会を開催しており、昨年度は六月二十五日と十二月三日に、昼の部はそれぞれ文京一中と茗荷中をお借りして、夜の部は池袋の養老乃滝、磯善で行いました。また、近年は定例会とは別に、高女の方々を中心とした懇親会が、秋に開催されています。  
毎年沢山の方々にお忙しい中お集まりいただいております。顧問の先生方やコーチの皆様、社会人や大学生として現役も入り交じって、バレーボールというスポーツを通じて交流を深め合う、大変賑やかな会合から、バレーボール部の結束力の強さ、伝統の素晴らしさがうかがえます。

今年度は、体育館が完成することによって、懇親会とも合同で、竹早高校にて定例会が行われることとなりました。大勢の皆様にお集りいただきたいと思っております。お誘い合わせの上、是非お越し下さい。詳細は会報でお知らせ致します。

はともあれ、大幅な時間超過で楽しく終えることができました。  
御出席の皆様、御協力頂いた皆様に深く感謝いたします。

このたびの会を如水会館で開催するにあたり、種々の無理な注文等を快くお許し戴き、御協力を頂いた七回生の中川氏(一橋教授)に厚くお礼申し上げます。終りに、かねてから総会の在り方が色々と検討されているところですが、今回出来るだけ多くの学年の方の参加を呼び掛けようと、集寿会、クラブOB会に声を掛けた結果、一学年に集中することなく、私どもの意見が多少反映されたと思っております。  
今後、意見をどんどん出して生き生きとした、息の通った集會になることを願って止みません。

### 表紙の作者紹介

石田恵子さん(高校六回生)  
女子美術大学油絵科卒業

表紙の花はグロリオサです。石田さんは現在、グラスグレイヴイルの分野で活躍されています。ガラスの食器や壁面などに、手彫りで図柄を彫り込んでゆく繊細な仕事です。今年もすでに大阪と福岡で展覧会をされました。

### 平成七年度集會總會会計報告書

總會日時:平成7年6月3日(土)  
總會会場:如水会館

収入総額	1,421,000円	一般会員	149名	894,000円
支出総額	1,421,000円	学生会員	3名	6,000円
残額	0円	小計		900,000円
[収入内訳]				
会費	900,000円	愛知会長祝金		100,000円
寄付	221,000円	来賓祝金		35,000円
		関西集會5回生有志		86,000円
		小計		221,000円
補助金	300,000円	集會		300,000円
総計	1,421,000円			

[支出内訳]				
如水会館対金	976,197円	会場費、宴会費、来賓お土産代		
講師謝礼金	300,000円	講師他		
總會準備金	67,421円	通信費、文具代他		
局留郵便料	13,020円	總會返信受取り		
印刷費	46,350円	總會プログラム・当日出席者名簿		
雑費	18,012円			
総計	1,421,000円			

# 理事会報告

平成七年度には、理事会を次のとおり開催した。

○五月十日 (出席 十九名)

▽議題一 平成六年度決算報告

依田会計理事より報告、向井理事より監査の結果適正であるとの報告あり出席理事全員一致で承認。

▽議題二 会長、副会長の辞意表明に伴う後任の候補者選出について。

前回会長候補に上った方々が都合上引き受けられないとのことで、新たに候補者を捜し、次回理事会で検討することを決定。

▽議題三 理事の選任について

竹野昌子、池田明子両氏を選任。

▽議題四 新入会員歓迎会

平成六年度卒業の委員と学校の先生方との年一回の交流会で、新入委員の出席は得られなかったが、筒井校長先生他四名の参加を頂き懇親会を行った。

○七月五日 (出席 十九名)

▽議題一 理事の選任について

城戸崎愛、清水愛子、前川富士子、對崎俊一各氏を選任。

▽議題二 会長、副会長の辞任に伴う後任会長、副会長の選任について

新任会長、副会長の任期は前任者の残任期間とし、次回理事会で選出することを決定。

▽議題三 事務局長の設置について

会事務の処理のため、事務局長を置くこととし、山広俊雄理事を選任。

▽議題四 会則委員会の設置について 会則を見直し、運営上の合理化を図るため会則委員会の設置を決め、委員に水原康子、小山紀久彌、山広俊雄、関文隆、對崎俊一各理事を選任。

▽議題五 平成八年度の開催時期について

担当学年の西森道子理事から、次のとおり開催したいと提案、決定した。平成八年六月二十九日(土) 午前十一時三十分受付開始

アルカディア市ヶ谷(私学会館)

○九月七日 出席 十七名 委任 十名

▽議題一 会長の選任について

城戸崎愛理事を選任

▽議題二 副会長の選任について

会長一任とし、次回理事会で指名、選出することに決定。

▽議題三 七年度総会報告

担当学年(高校五回)から出席の幹事が報告。若年層の協力が必要との反省を含め了承。

▽議題四 元、前会長を顧問に推挙することについて

全会一致で決定。

▽議題五 その他

前回選任の事務局長山広俊雄理事から局長辞任の申し出があり、承認。

○十月二十日 出席 十八名 委任 十名

▽議題一 副会長の選任について

会長が小山紀久彌、對崎俊一両理事を指名、選任した。

▽議題二 理事会の機構の見直しについて

活性化のため各理事が役割を分担することとし、会則の見直しに併せて機構を整えることを決定。

▽議題三 理事の選任について

推薦により北島末子氏が選任され、資金管理を委嘱することとした。

▽議題四 その他

一、手元資金について

小口の費用の支出のため、依田浩一理事が若干の資金を管理、支出できることとした。

二、連絡費用の支出について

新校舎の落成に伴い、改築中に在学し卒業した会員への見学会の連絡に要する費用(はがき)の支出を決定。

○二月一日 出席 二十七名 委任 一名

▽議題一 議事録の作成について

理事会議事録の作成を西森道子理事に委嘱した。

▽議題二 前回議事録の承認について

前回議事録を承認し、議事録署名人として稲葉良子、城戸崎愛、西森道子の三理事を選任した。

▽議題三 任期満了に伴う理事の改選について

城戸崎愛理事ほか二十八名を再選、小山豊子、堤政勝、長峰康江、三氏を選任。

▽議題四 当面の活動方針について

一、平成八年度の活動予定を整理して理事会の対応体制を整えることとし、次の分野で担当理事を定めて活動することを決定。

ア 総務、イ 会計、ウ 総会、エ 会報、オ 名簿、カ 百周年、

キ 新活動企画、ク その他

二、担当理事については各員の申し出を基本に、会長、副会長が調整し、決定することとした。

▽議題五 会則検討委員会の状況報告

委員会の検討状況について對崎俊一委員から報告された。

▽議題六 その他

一、会則に基づき推薦された河合道子氏の入会を承認した。

二、会報の会計報告が行われた。

三、理事会開催回数が増が提案され、各委員会の開催予定を勘案して検討することとした。

○三月二十二日(出席 二十五名)

▽議題一 任期満了に伴う会長、副会長の互選を行い、会長に城戸崎愛理事、副会長に小山紀久彌、對崎俊一両理事を再選した。

▽議題二 竹早校舎の落成に伴い、学校側の要望に応じて、掲示板一基を記念品として贈ることとし、(財)算会館に負担割合を各二分の一として連盟で贈ることに協力を求めるため、文書で呼び掛けることとした。

▽議題三 学校諸行事への祝い金の支出について

一、卒業式に対して三万円を贈ることとした。なお、卒業生に贈る卒業証書ホルダー、新入生に贈る校章(バッジ)については従前どおりとする

二、その他の行事については個人対応を原則とし、必要に応じて理事会で討議して対応す

ることとした。

▽議題四 会則委員会の設置について

会則を見直し、運営上の合理化を図るため会則委員会の設置を決め、委員に水原康子、小山紀久彌、山広俊雄、関文隆、對崎俊一各理事を選任。

▽議題五 平成八年度総会において、前会長に記念品を贈り、謝意を表すことを決定した。

三、会報について、全員が率直に意見交換し、改善を図ることを確認した。

四、理事の役割分担について、次のとおり会長から委嘱した。

\*對崎副会長担当 (◎は主務者)

(総務) 稲葉、高木(美)、◎清水、

小山(豊)、西森、渡辺。

(会計) 深山、◎北島、依田。

(名簿) 西村、吉川、中村、◎水原、◎堤

(企画) ◎吉沢、稲葉、前川。

\*小山副会長担当

(総会) 鈴木、竹野、◎西森、山広、長峰。

(会報) ◎森本、高木(萬)、向井、山広、角掛、関、池田、渡辺。

五、これまで算会館の事業としていた観劇会を、今後は本会の事業として継続実施することとした。

以上 33名

以上 33名

以上 33名

以上 33名

平成6年度算会会計報告

平成6年4月1日より平成6年3月31日まで

収入総計	¥8,113,459	
支出総計	¥1,180,466	
次年度への繰越	¥6,932,993	

収入内訳		
項目	金額	備考
会費	1,290,000	新47回生 258名分
利子	149,992	東京教育信用組合、郵便局
名簿関係	581,850	特サラトより名簿関係
前年度より繰越	6,111,617	
合計	8,113,459	

支出内訳		
項目	金額	備考
事務費	104,000	8,000×9月、10,000×9月
通信費	52,123	理事連絡用ハガキ代
合費	380,269	新役員歓迎会、理事会費
慶弔費	371,710	卒業証書入れ、新入生用バッジ
印刷費	122,364	算会名簿(46回生分)、封筒印刷費
会補助費	150,000	
合計	1,180,466	

以上の通り、ご報告致します。この会計報告は、5月10日の理事会で承認されたことも、あわせてご報告致します。

平成7年6月 日

算会会長 愛知 富  
算会会計 依田 浩一  
算会会計監査 向井 正昭

算会理事名簿

(平成8年度～平成11年度)

会長	城戸崎 愛 (女48回)
副会長	小山 紀久彌 (高6回)
理事	對崎 俊一 (高17回)
	吉沢 良子 (女40回)
	稲葉 美和子 (女43回)
	清水 愛子 (女44回)
	西村 章子 (女44回)
	吉川 凱江 (女44回)
	中村 文子 (女44回)
	村田 照子 (女44回)
	水原 康子 (女45回)
	深山 たか代 (女48回)
	北島 末子 (女48回)
	前川 富士子 (女48回)
	高木 萬里子 (高3回)
	森本 美智子 (高3回)
	浅羽 礼子 (高4回)
	向井 正昭 (高4回)
	小山 豊子 (高4回)
	竹野 昌子 (高5回)
	鈴木 直道 (高5回)
	西森 道子 (高6回)
	山廣 道子 (高7回)
	本間 文隆 (高8回)
	関 文隆 (高10回)
	角掛 隆 (高10回)
	池田 明子 (高11回)
	堤 政勝 (高12回)
	長峰 康江 (高17回)
	高木 雅子 (高20回)
	渡辺 信博 (高22回)
	依田 浩一 (高32回)
	(以上 33名)

## ◇ 篁会からのお知らせとお願い ◇

篁会に関する会員の皆様のご連絡、お尋ねは下記のとおり竹早高校事務室の庭野さんに受付をお願いしています。時間等、厳守願います。

受付日 毎週水曜日 \* 午前10時から午後4時まで  
電話 03-3811-6961

なお、連絡はなるべく郵便でお願いします。

〒112 東京都文京区小石川4-2-1 都立竹早高等学校 篁会

※平成9年度篁会総会、新装なった母校・竹早高等学校での開催を予定しています。

御意見、御希望をお寄せ下さい。(当番学年：高校7回・高校28回・高校48回)

竹早高校同窓会の発展をお祈りします

関 西 篁 会

会長 河合道子

(高校3回生)

西出法律事務所

弁護士 西出紀彦(昭和36年卒)

事務所 〒530 大阪市北区西天満3-6-22 北大阪屋ビル3階  
TEL (06)365-9813 FAX(06)365-5968

## 通信協力金払込のお願い

会報は皆様のお払込みと広告費によって発行されております。

なお一層のご協力をお願いいたします。

同封の払込用紙(振込手数料はいりません)にてお忘れなく。

学校側のご要望により、創立100周年記念誌発行に向けて皆様お手持ちの同期会報、記念写真、クラス会報や手記等をお寄せ下さい。コピーして保管したいと思います。(かならず返却いたします)

会報委員会一同

### 会報通信

昨年は大震災、オウム騒動等々大きな事件があり、今年は米国大和銀行、住専、信組、TBS報道等々間違った「ウン」でかくす事件が多発して世の人々の怒りをかかっています。自分は人より偉いんだとの思い上がり、地位を利用して間違いを起こし「ウン」の表をし、しらを切り人をあざむく、人にあるまじき行為である。人間だからあやまり、訂正するのが人の生き方だと思ふ。偉い人、偉くない人と思ふ考えが第一の間違いである。わが会報委員会は上下のへだてなく自由平等の話し合いにより運営されております。

会報も今回で七号になります。当初は総会の案内を会員全員に知らせることを第一に立ち上がりましたが、五年後の創立百周年記念誌をせむ作りたいと、少しずつでも積立金を増して頑張っています。皆様の御協力をお願いします。

今回は六回生の有志が参加して下さい、表紙・レイアウト等を担当しました。又篁会理事会議事録を入れたので

6号 会報会計報告	
平成8年1月16日	
払込及び現金送金	2,451,000
〈収入の部〉	
正味金額	2,452,240
広告代金	680,000
受取利息	30,937
合計	3,163,177
〈支出の部〉	
会報発送料	986,832
" 製作費	1,757,363
" 編集費	128,642
" 発送昼食代	54,386
合計	2,927,223
差引残高	235,954
上-6号残高	6,548,614
合計	6,784,568
定期預金(2口)	6,000,000
第一勧銀(普)	68,661
郵便貯金	478,645
現金	242,262
合計	6,784,568
会計担当	森本美智子
以上相違ないことを認めます。	
平成9年1月17日	山廣 俊雄

広告のページを少なくしましたが、新しい人の参加により内容は充実していると思います。懐かしい青春の日々を思い出す上でお役に立てば何よりの喜びと考えております。お忙しいなか、原稿を下された方、又編集委員の方々心からお礼を申し上げます。

会報委員会は毎月第三水曜日午後六時三十分より竹早高校内で開いています。この会報はもとより同窓会の各種の行事は言うまでもなくボランティア活動です。自分達の努力が少しでも同窓一万五千有余の人々の集いのために寄与できればと、思う方々によって運営されています。この会が発展するためには先輩各位の経験と知恵、若い方々の新しい発想とエネルギーが一体化されることが不可欠です。百年近い歴史のなかで、礼儀・常識・言葉遣い等々、各世代で解釈が異なり先輩後輩のギャップはありますが、話し合い、譲り合えばきっと理解し合えることと確信します。

篁会が若い人を含めより多くの人ももっともって開かれた会になるよう卒業生各位の御協力をお願いします。

関文隆(高校十回生)

<p><b>株式会社 日東</b>          ☎116 東京都荒川区荒川4-33-2  <b>☎03(3802)4521</b>  <b>吉川 凱江</b>          昭和19年(高女44回)          ☎116 東京都荒川区荒川4-33-2  <b>☎03(3891)2020</b></p>	<p>医療法人  <b>武井 整形外科</b>          院長 <b>武井 秀丸</b>          (昭和32年卒)          ☎332 与野市上落合875          (大宮赤十字病院前)  <b>TEL 048-855-0663</b></p>	<p><b>割烹 百点</b>          湯島天神下交差点近く          ☎113 文京区湯島3-35-3  <b>北村 光史</b>          (昭和33年卒)  <b>☎03(3831)8993</b></p>
<p><b>紙</b> の総合商社  <b>株式会社 深山</b>          東京都台東区元浅草1丁目1番3号          TEL (3842) 1211 (大代表)</p>	 <p>企画・デザインから印刷まで <b>美実堂</b> ☎03-3959-2131</p>	<p><b>SALAT</b>          本社 兵庫県姫路市北条356-1 〒670          Tel.0792-84-1380 Fax.0792-24-7746          東京支社 東京都台東区台東2-27-7 〒110          日土地御徒町ビル8F          フリーダイヤル0120-036381 Fax.03-3832-6389</p>
<p>バイオ理化学実験器械 販売  <b>日京テクノ株式会社</b>          代表取締役 <b>荒井 堅司</b>          昭和30年卒(高校7回)          ☎113 東京都文京区本郷2-17-8  <b>TEL 03-3814-2066</b>  <b>FAX 03-3814-2060</b></p>	<p>校 医  <b>河野 歯科医院</b>          ☎112 東京都文京区小石川1-16-11          河野ビル  <b>☎03(3811)5456</b></p>	<p><b>良縁をお世話します</b>  <b>スターハウス</b>          初婚・再婚・中高年          お気軽にお電話下さい          ☎216 川崎市宮前区宮崎5-14-1-401          田園都市線宮崎台駅5分  <b>TEL 044-856-8772</b>          昭和37年卒(高校14回)石田(井出)美波</p>
<p><b>司法書士 渡邊岑子 事務所</b>          渡邊岑子(昭和25年卒)          ☎114 東京都北区滝野川7-3-2          互惠板橋ハイム305(埼京線板橋駅前)  <b>TEL03-3916-5101</b>  <b>FAX03-3916-5102</b></p>	<p>パンフレット・カタログ等の企画          製作から オフセット印刷・転写          迄幅広くお応えするクリエイティブ          な会社です          ☎101 東京都千代田区外神田6-9-8  <b>有限会社 博秀工芸</b>  <b>村瀬 共栄</b>          昭和36年卒(高校13回)  <b>TEL 03-3836-3680 FAX 03-3834-4390</b></p>	<p><b>對崎俊一法律事務所</b>          弁護士 <b>對崎 俊一</b>          昭和40年卒(高校17回)          ☎105 東京都港区虎の門1-1-11  <b>TEL 03-3506-7941</b>  <b>FAX 03-3506-7903</b></p>

<p>酸洗鋼板・熱延鋼板          シャーリング・スリット・レベラーカット 加工販売          貴金属シール・サイン  <b>泰誠産業株式会社</b>          代表取締役 <b>内山 光政</b>          昭和33年卒(高校10回)          台東区上野3-13-1西武ビル3階  <b>☎03(3836)1068</b></p>	<p><b>奄美クルマエビ(株)</b>          専務取締役 <b>上野 国衛</b>          昭和33年卒(高校10回)          ☎894-05 鹿児島県大島郡笠利町手花部358-1  <b>TEL 0997(63)2406</b>  <b>FAX 0997(63)1351</b></p>	<p>特殊刃物・スクレパー 薄刃、厚刃、          丸刃、超硬 設計 製作  <b>ダイワ刃物工業有限公司</b>          代表取締役 <b>関 文隆</b>          昭和33年卒(高校10回)          ☎175 東京都板橋区徳丸1-9-8  <b>TEL 03(3550)3355</b>  <b>FAX 03(3550)3519</b></p>
<p>パロディスト  <b>マッド・アマノ</b>          (天野正之)          ☎114 東京都北区上中里1-14-2  <b>☎03-3910-3051</b>          昭和33年卒(高校10回)</p>	<p><b>山田化学薬品株式会社</b>          代表取締役社長 <b>山田 隆英</b>          ☎103 東京都中央区日本橋本町3-3-14  <b>TEL 03(3241)1203代</b>  <b>FAX 03(3242)7555</b>          山田(片桐)通子(昭和35年)</p>	<p>ゴルフ用品専門店  <b>群馬プロゴルフショップ</b>          代表取締役 <b>山田 米造</b>プロ  <b>山田満由美</b>プロ  <b>山田満寿子</b>(昭和29年卒)          ☎371 群馬県前橋市大手町2-3-10  <b>☎0272(21)2446</b></p>
<p>静岡キタハイの川根茶  <b>山廣園 本店</b>          専務取締役 <b>山廣 俊雄</b>          昭和30年卒(高校7回)          ☎112 東京都文京区小石川4-21-1  <b>TEL 03-3811-2002・0565</b></p>	<p><b>サンヨー工業 齏</b>          代表取締役 <b>吉岡 忠俊</b>          昭和36年卒(高校13回)          ☎173 東京都板橋区双葉町45-6  <b>☎03(3964)6090</b></p>	<p>医療法人 社団法人 大成会  <b>長 汐 病院</b>          三宅 美智子          昭和21年卒(高女47回)          ☎170 東京都豊島区池袋1-5-8  <b>☎03(3984)6161代表</b></p>
<p><b>平河法律総合事務所</b>          所長 <b>稲見 友之</b>          (昭和33年・高校10回生)          ☎102 東京都千代田区平河町1-5-16          7村スタジオビル  <b>電話 03(3261)1411</b></p>	<p>手袋人形作家          子供の文化研究          講師  <b>長 縄 泰子</b>          旧姓長谷川 昭和25年卒(高校2回)          ☎171 豊島区西池袋4-3-5  <b>TEL 03-3982-6847</b></p>	<p><b>国立音楽大学</b>          教授(独語担当)          内海 晶          ☎106 東京都中央区東日本橋2-2-9  <b>TEL 03(3851)8544</b>          昭和27年卒(高校4回生)</p>

日本陰陽暦日対照表(加唐興三郎編著)旧姓・間瀬先生  
 がなんと1500年間約50万日分の「こよみ」を本にしました。日本  
 経済新聞に8段ぬきの記事として、とりあげられたのが、きっか  
 けとなり産経新聞や大分合同新聞等の地方新聞各紙に記事として  
 掲載されたり、国際交流基金のニューズレターで全世界に紹介さ  
 れ、アメリカのハーバード大学・プリンストン大学・公立クリ  
 プラント図書館等へ納入され、只今大好評発売中です。

国文学古典の読解鑑賞・歴史上の諸事件の確証

天文・気象・農業学の検証に役立つ本

和暦と西暦(ユリウス暦・グレゴリオ暦)の比較対照が  
 一目でわかる「日本陰陽暦日対照表」出版発売元  
 にほんいんようれきじつたいしょうひょう

※自費出版のご用命はぜひ当社へ

髙ニットー出版企画

〒113 東京都文京区千駄木3-22-11-623

☎03(3821)0210 FAX03(3823)0064

高校10回生・昭和33年卒 角掛 隆・昌枝(旧姓・三部)

## 株式会社 東京プリント印刷

取締役社長 金森 延武

〒112 東京都文京区小石川 5-31-8 ☎03-3811-3314(代) FAX-03-3811-3319

昭和28年卒・高校5回生

石州流伊佐派  
 半々庵八世

半月庵 磯野 宗琢

(磯野うめ子・昭和13年)

〒113 文京区本駒込 6-11-22 電話 03(3946)4011

Ad' Communication.

**ACE**  
 ADVERTISING CO., LTD.

株式会社エース企画

代表取締役

星 貢市

(昭和35年)

●東京都中央区銀座3-11-11銀座参番館IIビル7F ●〒104 ●TEL(03)3546-0741 ●FAX(03)3546-1449

専門体育教師による水泳・体育指導

個性を伸ばし、のびのびと明るい、元気な子を育てる

**日進まこと幼稚園**

〒331 大宮市日進町2-1048(丸広百貨店南隣り) ☎048-663-0938

**第二まこと幼稚園**

〒331 大宮市日進町3-193(日進北小東隣り) ☎048-664-1785

野尻 国彦(昭和41年卒・高校18回)

毎週木曜夜7時~9時、日進北小体育館でママさんバレーボールの練習をしています。お近くの方はどうぞご参加下さい。

ボルボ正規ディーラー

**ヨシダ・オート株式会社**

代表取締役 吉田 光之 (高校17回)

〒113 東京都文京区向丘1-7-14

☎03-3818-8551 FAX 03(3818)4734

クスリの御相談は

**株式会社 フヂヤ薬局**

薬剤師 小川 英康(昭和40年)

東京都墨田区墨田5-39-4 TEL(03)3611-6519

淑子の鍼灸室

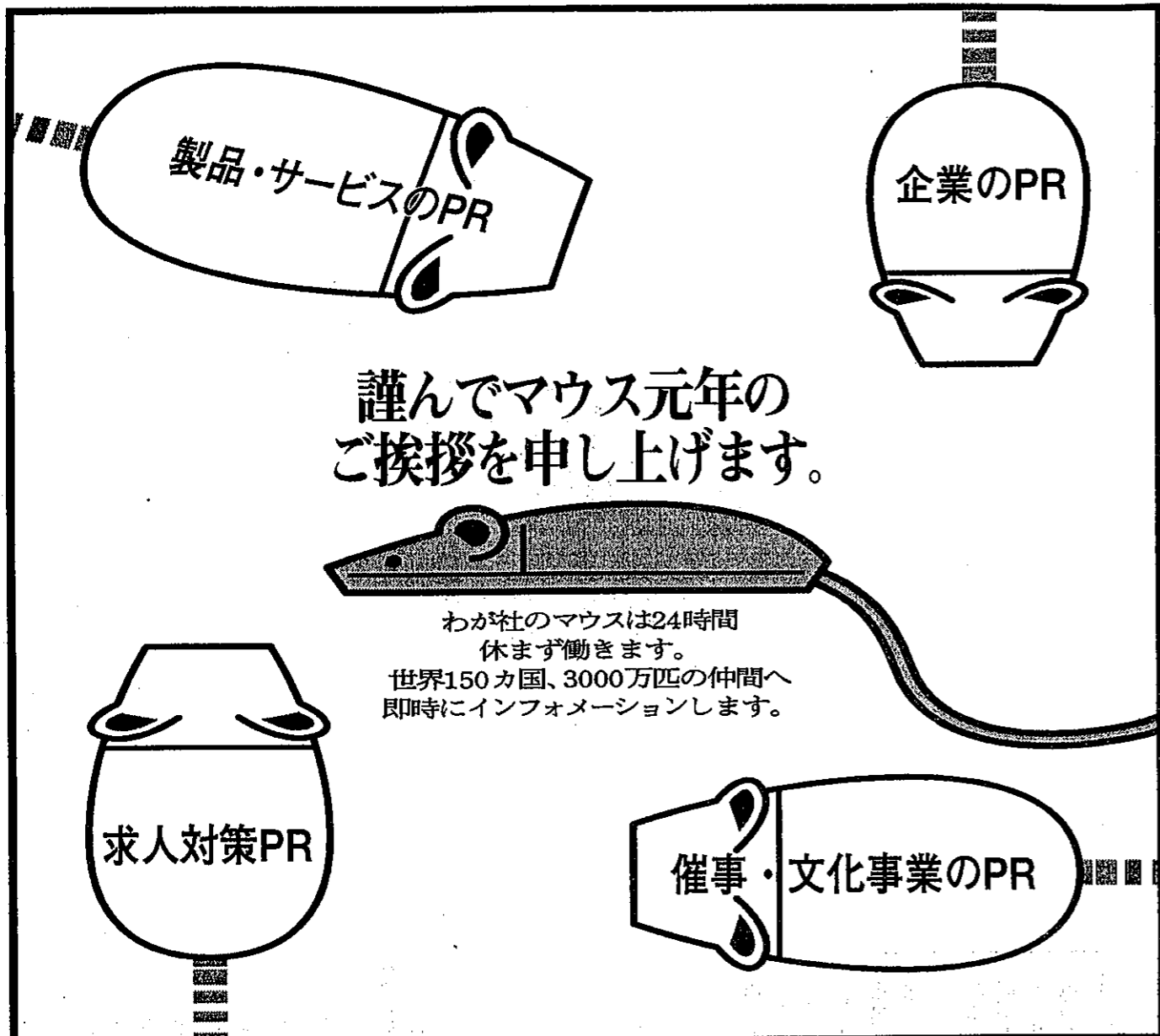
室長・国立国際医療センター麻酔科勤務(月・水)

医学博士・鍼灸師 藤田 淑子(昭和23年卒)

診療日: 火・木・土(限定予約)

〒113 東京都文京区本駒込3-34-3

TEL 03(3821)7075 FAX 03(3822)2986



謹んでマウス元年のご挨拶を申し上げます。

わが社のマウスは24時間休まず働きます。世界150カ国、3000万匹の仲間へ即時にインフォメーションします。

(株)ジャパンPRビジョンは、パブリック・リレーションズ業務の専門会社として、1970年(昭和45年)設立いたしました。以後、今日まで内外の各企業はもとより官公庁、地方自治体、教育機関、諸団体などのPR活動に独自のPR理念をもって対応し、実績をあげてまいりました。時代を理解し長期的な展望に立って、総合的PR活動を展開する(株)ジャパンPRビジョンの活動に、今後ともご注目ください。

**TR**  
**株式会社 ジャパンPRビジョン**  
 〒104 東京都中央区銀座5-10-6 御幸ビル5F  
 TEL. 03-3574-6591 FAX. 03-3574-0056  
 取締役社長 常木 盛雄 (昭和29年)  
 日本パブリック・リレーションズ協会会員 国際PR協会会員

**OGCS** PRESSURE STANDARDS  
 MULTI PRESSURE MEASURING  
 PRESSRE CALIBRATION SERVICE

株式会社 大手技研・日本キールサービス株式会社  
**大手 昭** (高校6回)

〒305 茨城県つくば市千現 2-9-1 TEL. 0298(55)8778 FAX. 0298(55)8700

株式会社  
 競 総合建築設計事務所  
 〒150 東京都渋谷区恵比寿西1-8-3-311  
 TEL 03-3463-4638  
 FAX 03-3770-5465  
 昭和29年卒 (高校6回) 岩崎照子 (旧姓 名畑)

**総会へ向けて**

今年度の篁会総会は  
 高校6回(昭和29年卒)が  
 メイン担当幹事です  
 呼び掛けあって  
 準備を進めています  
 散会後には同期の懇親会も  
 予定しています  
 総会には是非ご参集下さい  
**高校6回**  
 篁会総会準備幹事一同

建築設計施工  
 株式会社 **鷺沢工務店**  
 東京都知事許可(般-6)第5849号  
 〒114 東京都北区中十条3-6-3  
 TEL (03) 3908-4188  
 (かほ よいこ)  
 FAX (03) 3908-6546  
 (鷺沢八千代)  
 昭和29年卒 (高校6回)

**ライオンフーズ**  
 株式会社  
 代表取締役 宮崎 守一  
 〒386 浦和市別所1-16-3  
 TEL:048-863-1185  
 TEL:048-863-1185  
 宮崎(本橋)愛子(昭和29年)

**大畑法律事務所**  
 弁護士 大畑雅敬  
 弁護士 大畑雅義  
 〒160 新宿区5-4-1新宿Q777ビル709  
 TEL:03-3341-1788  
 TEL:03-3341-1788  
 大畑久美子 (高校6回)

(広告ではありません)  
 長い間、霊園管理の仕事に致しており、使用者の相談をお受け致しております。仏事に関する承継等、法的問題(墓地埋葬等に関する法律)、墓地に関する事でお聞きしたい事がありましたらご相談下さい、お役に立てると幸いです。

勤務先 築地本願寺 **西多摩霊園** 東京事務所 管理部調査役 八木茂太郎  
 〒101 東京都千代田区内神田2-2-5 ☎ 03-3257-1250(代) 昭和28年卒・高校5回生